

党市議会議員 中村あさと



また、この間の自民党が進めてきた政治は、戦争中の治安維持法や、盗聴法といえる特定秘密保護法と言え共謀罪が成立し、戦争の準備が進められているとして、再び戦争と暗黒政治を許さないと訴えました。

対話と信頼の政治で解決を！

この間、微用工の問題に端を発した日韓関係の悪化は、これまでにないほど深刻です。この問題で政府は、微用工問題という政治的歴史的な対立の解決の手段として、韓国をホワイト国から除外する経済的な対応を行いました。また、韓国も軍事的な手法で対抗措置をとっています。どちらも筋違いなやり方で、国民の生活など全く顧みないままです。子供の喧嘩のようにやられたらやり返すという感じですが、このように対話なしの威圧ばかりの政治では、本当に戦争に繋がるのではないかと不安に駆られます。対話と信頼の政治の実現こそ、戦争をなくす真つ当な政治だと強く実感します。



—訂正—

前号当欄の記事中、高校生の参加は日高高校ではなく、田辺高校でした。お詫びし訂正します。

日韓問題を思う

先日開かれた、治安維持法犠牲者国賠同盟第30回県本部大会に参加しました。会長の鶴田よしひろ県議は、7月に行われた参議院選挙に触れ、改憲勢力の議席が3分の2を切った事に触れ「喜ばしいことだが憂慮できない」「いつ3分の2に達するか分からない流動的な状況にある」と述べました。

Relay Talk

千手川を挟んで東側の直川・府中の巨大太陽光発電計画の事業者が環境について調査を行っていたところ、事業をしないということで県に通知がありました。一方、西側の有功・六十谷の発電所計画を進めている事業者は5月15日付で県へ林地開発の申請を出していました。6月26日には県は業者に對し、補正文書を出しています。ところが8月8日付で業者が和歌山地裁に民事訴訟を起こしています。8月27日付毎日新聞の記事で分かりました。早速、

県に確認し、「しつかり反論してほしい」と伝えました。訴訟内容は明らかにされませんでした。9月10日から議会が始まります。いのちと暮らしを脅かす事業計画は許せません。事業の撤回を求めてみなさんといっしょにいっそう頑張りたいと思います。そして、安心して住める街づくりをいっしょに考えてゆきたいと思っています。

そこで、ぜひご紹介したいのが次の講演会です。無料です。自由に参加できます。9月1日(日)午後1時半から3時半まで 和歌山県JAビル2階和ホールで和歌山大学の客員教授の和田武先生の講演があります。市民・地域主導で再生可能エネルギー普及を推進しようという内容で、世界の最新動向を踏まえつつ日本の今後を考えるとというテーマです。主催は全国保険医団体連合会近畿ブロック主催です。(奥村のり子)

和歌山県保険医協会のメールから一部を紹介します

平素は当会の企画にご参加ご協力いただき改めて御礼申し上げます。さて、和歌山市をはじめ県内至るところで、メガソーラーや風力発電の設置について問題が発生しています。世界をみると、脱原発を再生可能エネルギーに転換しているのに、日本では原発を他国に売り込みに行ったり、危険な場所を建設予定にしたりと上手くすすんでいるとは言えない状況です。今回、保険医団体連合会近畿ブロックの企画で、9/1(日)午後1時半から3時半まで和歌山県JAビル2階にて和田武先生(和歌山大学客員教授)にご講演いただくことになりました。市民の参加もOKとしましたので、もちろん参加費は無料です。よろしくお申し込み申し上げます。

- ▲9月5日頃から発売
 - ▲定価260円(税込み)
 - ▲お近くの書店にあるかもわかりませんが
- 党県委員会 (☎425-4111)
北部地区委員会 (☎432-6222)
へどうぞご注文を！

日本共産党創立97周年
記念講演が本になりました

共闘の4年間と
野党連合政権への道

夏の終わりに開かれた和歌山生協病院平和夏まつりで、お店を出した共産党女性後援会です。みんな最高の笑顔です



県会議員 おくむら のりこの
しんぶん 赤旗 読者ニュース



2019年9月1日 第370号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

メガソーラー問題が過熱 9月1日の講演もどうぞで！